



現在感動体験中！

～しなやかな感性を持ち続けよう～

学校長 有村 恵

子供が感動しているときの表情は実にきらきらと目が輝き、見ているほうも嬉しくなるものです。大人になればこれまでの人生で何度も目にしたものに対して、感動が薄れてしまいがちです。

しかし、昨今の子供の「体験」といえば、インターネット・テレビ等を通しての感覚的に学びとる「間接体験」やシミュレーション・模型等を通しての模倣的に学ぶ「擬似体験」が多くを占め、実物に関わっていく「直接体験」が減ってきています。だからこそ、多くの直接体験を促し、感動する機会を増やしていくことが大切です。

これからの社会で重要になるであろう子供たちの将来を支える「生きる力」は、今まで経験したことのない課題に出会った時に解決できる力の育成が重要です。子供時代に体験で得た感動は、問題解決のきっかけになることがあり、また感動そのものが直接的に生きていくことへの自信につながるものです。

さらに、感動が脳を刺激し「強い記憶」となるとも言われています。記憶を高める秘訣はわくわくするような気持ちで、覚えることが大切です。つまり、覚えたいことに感動を込めて理解することで、記憶効率が高まっていくものです。

また、アインシュタインはこんな言葉も残しています。

知的好奇心、その存在意味は、問い続けることをやめないことだ。自然は、人の知的好奇心を永遠にやめさせない。それは年少のうちから知るほどに感動が大きい。感動が大きければ忘れないし、ずっと大切な原体験として、子供のなかに生き続けていく。
(原体験とは、その人の一生に残るような、初めての体験のこと。原体験は、その人のその後の思考や価値観に影響を与え続けると言われる。)

感動の瞬間は、直接的・具体的に本物や実体験を通して、子供自身が深く興味・関心を抱き、じっくりと見たり、聴いたり、触ったりすることで生まれるものです。

私たち大人よりも子供の吸収力が圧倒的に高いのは、感動の瞬間が多いからだと考えています。子供の目が輝き、表情に「！」や「！？」が現れる時こそ、「現在感動体験中」。大人も一緒になってその感動を共有できれば、子供らしい「しなやかな感性」をいつまでも持ち続けることができるのではないのでしょうか。

学習発表会

11月14日（日）学習発表会が行われました。上・下学年の2部形式や参観者の人数制等の感染症対策を行いながらの実施でしたが、子供たちは練習の成果を存分に発揮してくれました。保護者から「普段の学習の様子が分かりました。」「堂々と発表する姿に成長を感じました。」等の感想が寄せられました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

体温測定器・陽光桜・オオデマリ寄贈

吉田小学校の卒業生、伊地知徳弘様より「体温測定器」「陽光桜・オオデマリ」を寄贈していただきました。11月19日（金）は、贈呈式が行われ、6年生が感謝状が贈りました。



贈呈式

【子供達の頑張りを紹介します】

第12回	税に関する絵はがきコンクール	審査員特別賞	6年	O・S
第32回	伊藤園おーいお茶新俳句大賞	佳作特別賞	3年	T・Y
第23回	南九州市かわなべ青の俳句大会	特選	3年	H・H
第404回	珠算検定試験	二段	5年	S・R

1月

主な学校行事

2月

- 11日（火）始業式 あいさつ週間
いじめ問題を考える週間
- 18日（火）鹿児島学習定着度調査（5年）
（～19日）
- 20日（木）授業参観
- 23日（日）子どもと一緒に読書の日
- 27日（木）クラブ活動3年生見学

- 1日（火）芸術鑑賞会
- 9日（水）上学年部集会
- 11日（金）建国記念日（祝日）
- 12日（土）校内かるた大会
集団下校
- 14日（月）暗唱チャレンジ週間
- 15日（火）新入生1日体験入学
入学説明会
- 18日（金）縄跳び大会 学校保健委員会
家庭教育学級閉級式
- 23日（水）天皇誕生日（祝日）
- ※ 変更する場合があります。御了承ください。

上記の記事の詳しい内容や南日本新聞に掲載された本校の子供達の作品を、吉田小学校のブログに載せてあります。また、学校行事や日々の子供達の頑張りのブログを毎日更新しています。右のQRコードか、吉田小学校ホームページからぜひご覧ください。

